

○ 森林生態系保護地域の概要

平成26年4月1日現在

名称	面積(ha)			森林生態系の特徴		年月日
	保存地区	保全利用地区	合計	植物	動物	
日高山脈	70,701	73,086	143,787	日高側は針葉樹林及び針広混交林、十勝側は広葉樹林中腹以上はダケカンバ帯からハイマツ帯に至る	ヒグマ、ナキウサギ、ミヤマクゲネズミ等の哺乳類、クマゲラ、エゾライチョウ等の鳥類、カラフルリシジミ等の昆虫類	平成7年4月1日
漁岳周辺	1,512	1,755	3,267	大雪山等道央のエゾマツ・トドマツ林と渡島半島のブナ林との移行地域として重要でブナを欠く広葉樹林から針広混交林、さらにはダケカンバ帯に至る	ヒグマ、エゾシカ、エゾクロテン等の哺乳類、クマゲラ、エゾライチョウ等の鳥類、エゾチツゼミ、ジョウザンシジミ等の昆虫類	平成8年4月1日
大雪山	42,625	37,236	79,860	下部のエゾマツ・トドマツの北方針葉樹林からダケカンバ帯、さらにはハイマツ帯に至る	エゾヒグマ、エゾナキウサギ等の哺乳類、クマゲラ等の鳥類、ウスバキチョウ等の蝶類等	平成6年1月31日
知床	31,915	14,073	45,989	冷温帯汎針広混交林、高山植生、海浜断崖植生等	エゾヒグマ、エゾシカ等の哺乳類、シマフクロウ、オジロワシ、クマゲラの鳥類等	平成2年4月25日
狩場山地須築川源流部	1,408	1,324	2,732	下部はブナ天然林の集団としての北限、上部はダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る	エゾクロテン、エゾヒグマ等の哺乳類、クマゲラ等の鳥類等	平成5年1月29日
恐山山地	1,039	4,499	5,538	ヒノキ、アスナロ、ブナ等を中心とし、土地的・気候的極相を示す冷温帯森林を構成	ニホンザル、ニホンカモシカ等の哺乳類、アオゲラ、キセキレイ等の鳥類等	平成7年3月29日
早池峰山周辺	5,042	3,102	8,145	ブナ、ヒノキアスナロ等の天然林とアカエゾマツの南限	ニホンカモシカ、ツキノワグマ、コキクガシラコウモリ、ヤマネ等の哺乳類、クマタカ、イヌワシ、ノゴマ等の鳥類等	平成5年8月20日
白神山地	10,139	6,832	16,971	ブナを中心とした冷温帯落葉広葉樹林	ニホンカモシカ、ツキノワグマ、ニホンザル、ホンドオコジョ等の哺乳類、クマゲラ、ビンズイ等の鳥類等	平成2年3月29日
葛根田川・玉川源流部	7,136	2,255	9,391	下部はブナの極相林、上部はオオシラビソを主とする天然林	ツキノワグマ、ニホンカモシカ、モモンガ等の哺乳類、クマゲラ等の鳥類等	平成3年4月1日
栗駒山・栃ヶ森山周辺	9,130	7,164	16,293	日本海型から太平洋型への移行帯における優れたブナ林、山頂付近はミヤマナラ、ハイマツの低木混交林	ツキノワグマ、クロホオヒゲコウモリ、ヤマネ等の哺乳類、イヌワシ、クマタカ、クマゲラ等の鳥類等	平成6年3月22日
朝日山地	27,829	42,119	69,948	低地のブナ～高地のハイマツまで日本海側多雪山地の植生分布	ニホンカモシカ、ヤマネ、ホンドオコジョ等の哺乳類、イヌワシ、クマタカ等の鳥類	平成15年3月28日
飯豊山周辺	11,809	17,636	29,445	山地帯は広大なブナ林、高山帯には固有種のイデリンドウをはじめとする170種に及ぶ多様な高山植物	ツキノワグマ、ニホンカモシカ等の大型哺乳類、イヌワシ、オオタカ、クマタカ等の大型鳥類	平成4年3月30日
吾妻山周辺	5,738	6,350	12,088	顕著な亜高山帯針葉樹林とブナが特徴的であり、シラベの北限ともなっている	ニホンカモシカ、ヤマネ、ニホンザル等の哺乳類、イヌワシ、ハヤブサ等の鳥類等	平成7年2月24日
利根川源流部・燧ヶ岳周辺	3,862	16,224	20,086	ブナ、オオシラビソ、クロベ、キタゴヨウ等の天然林とミヤマナラ等の多雪地広葉樹低木林	ツキノワグマ、ニホンカモシカ等の哺乳類、イヌワシ等の鳥類等	平成2年3月31日
奥会津	7,715	76,175	83,891	オオシラビソ等の亜高山性針葉樹林、ブナ、ミズナラ林等の冷温帯落葉広葉樹林、コナラ、アカシデ等の中間温帯林により構成	ニホンカモシカ、ツキノワグマ、ニホンザル、オコジョ等の哺乳類、イヌワシ、クマタカ等の鳥類等	平成19年4月1日
佐武流山周辺	7,020	5,773	12,793	日本海側の典型的な豪雪地帯のブナ林、亜高山帯はオオシラビソ、シラベ、キタゴヨウの針葉樹林	ニホンカモシカ、ヤマネ、ツキノワグマ、オコジョ等の哺乳類、イヌワシ等の鳥類等	平成5年1月29日

名称	面積 (ha)			森林生態系の特徴		年月日
	保存地区	保全利用地区	合計	植物	動物	
小笠原諸島	5,319	261	5,580	亜熱帯植生であり、山地にシマホルトノキ、オガサワラグワ等の湿性高木林が分布	オガサワラオオコウモリ、アカガシラカラスバト、ハジマメグロ等の小笠原固有種が多数生息	平成6年3月22日
南アルプス南部光岳	1,827	2,739	4,566	ブナ、ミズナラの落葉広葉樹から、ツガ、シラベ、分布の南限であるハイマツ等の垂直分布	ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンザル等の哺乳類、ライチョウ等の鳥類等	平成2年3月31日
中央アルプス木曾駒ヶ岳	1,813	2,328	4,140	日本海型から太平洋型気候の推移帯で、ヒノキ、サワラ、ネズコ、シラビソ、コメツガ、ダケカンバ、ハイマツ等の多種多様な植物からなる森林の垂直分布	ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ホンドオコジョ等の哺乳類、イヌワシ、クマタカ等の鳥類等、ミヤマモンシロチョウ、オオイチモンジ等の蝶類等	平成8年3月29日
北アルプス金木戸川・高瀬川源流部	5,468	2,631	8,099	山地帯のクロベ、亜高山帯のシラビソ、オオシラビソ及びダケカンバ、高山帯におけるコケモモやハイマツ等の本州内陸型の代表的な植生	ニホンカモシカ、ヤマネ等の哺乳類、イヌワシ、クマタカ、ライチョウ等の鳥類の他、タカネヒカゲ等の蝶類等	平成6年3月22日
白山	6,021	8,793	14,813	ブナ、分布の西限であるハイマツ、オオシラビソ等	ツキノワグマ、ニホンカモシカ等の哺乳類、イヌワシ、クロジ等の鳥類等	平成2年3月29日
大杉谷	509	882	1,391	スギ、カシ、タブ、ブナ、トウヒ、コメツガ等の垂直分布	ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンジカ等の哺乳類、ヒガラ等の鳥類等	平成3年3月28日
大山	1,197	1,997	3,193	日本海型ブナ林地域で、亜高山帯には特別天然記念物のダイセンキョロボク群落が分布	ヤマネ、オオサンショウウオの他、ミヤマカラスアゲハ、ウスイロヒヨウモンモドキ等の100種以上の蝶類	平成4年3月30日
石鎚山系	1,229	3,015	4,245	暖温帯性のウラジロガシから亜寒帯性のシラベまでの垂直分布	ヤマネ、ヒメヒミズモグラ、モリアブラコウモリ等の哺乳類等	平成2年3月29日
祖母山・傾山・大崩山周辺	1,580	4,398	5,978	アカガシ、ツバキ等の常緑広葉樹からツガ、モミ、ブナ、ヒメコマツの垂直分布	ニホンカモシカ、ヤマネ、ニホンザル、モモンガ等の哺乳類、ホシガラス、コマドリ、アカショウビン等の鳥類等	平成2年3月29日
稲尾岳周辺	457	589	1,045	シイを中心とする暖温帯常緑広葉樹林帯に属し、山頂には一部モミ、ツガが混生	ニホンザル等の哺乳類、キリシマミドリシジミ、フチドリアツバコバネ、ムツボシシロカミキリ等の昆虫類等	平成6年3月22日
綾	674	493	1,167	樹齢300年以上のイチイガシやイスノキを有し、標高毎に多種多様な樹木が分布	絶滅危惧種に指定されるヤイロチョウをはじめ、希少な猛禽類や様々な哺乳類等	平成20年3月31日
屋久島	9,601	5,585	15,185	世界的に稀な高齢ヤクスギ群とヤクシマチシダ等多数の固有種を含むシダ類や豊富な蘚苔類に特徴づけられる植生	ヤクシカ、ヤクザル、ヤクコマドリ、ヤクシマトゲトンボ、ヤクシマミドリシジミ等屋久島固有のものが多数	平成4年3月30日
西表島	9,999	10,472	20,471	スダジイの優占する照葉樹林、ガジュマル等の群落、メヒルギ、オヒルギ等のマングローブ林	イリオモテヤマネコ、琉球イノシシ、ヤエヤマオオコウモリ等の哺乳類、カンムリワシ、リュウキュウキンバト等の鳥類等	平成3年3月28日
奄美群島	2,253	2,567	4,820	主に常緑広葉樹が優占し、まとまった自然林が存在	リュウキュウイノシシ、ルリカケス、アマミヤマシギ、オビトカゲモドキ	平成25年3月31日
合計	292,566	362,352	654,918			

資料：林野庁業務資料

注：計の不一致は四捨五入による。